令和 7年 9月18日

### 事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0001

評価年度 令和 6年度

00650

進捗区分 評価完了 1001 政策調整部企画調整課 所属

国際親善推進事業

所属長名 伏見 亮平 記入者 小西 亜美

事務事業番号 【基本情報】

【叁个情報】								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	002 自然、歴史、	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り						
基本政策	005 インバウンド	観光で人が集い、にる	ぎわうまちにしま	す				
施策	014 多文化共生·	国際交流の推進						
取組の方向性	001 国際交流を通	じた国際理解の推進						
事務事業	001 国際親善推進	事業						
運営方法	直営		•	•	•			
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等		<u>.</u>	<u>.</u>	<u>.</u>				
事業概要	(事業概要) 姉妹・友好都市を始め、 また、学校等において[	国際文化理解教室等を						
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	国際交流・国際協力事業 (見直しや改善等の経過	染症により停滞してい 業などの市民レベルの (1) 祭親善協会への委託事	交流が各所で行業の内容の見直	われている。 しを行い、令和 5 年 <sub>月</sub>	ICA青年海外協力隊派遣等の 度より姉妹友好都市等との交流			

【争耒ガ忻】	
対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	グローバル化社会に対応するため
手段(どのようなやり方で)	姉妹友好都市や外国人市民との市民レベルの交流の機会を提供することにより、
成果(どのような 状態にするのか)	異なる言語や文化、価値観への理解を深め、国際社会の一員として広く活躍できる人材を育成する。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	・タルコスト	7, 533	5, 459	6, 589	6, 183	6, 183	6, 995	6, 589
=	事業費	5, 013	1, 139	1, 869	1, 463	1, 463	2, 275	1, 869
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	11	9	4	4	4	4	4
	一般財源	5, 002	1, 130	1, 865	1, 459	1, 459	2, 271	1, 865
	人件費計	2, 520	4, 320	4, 720	4, 720	4, 720	4, 720	4, 720
	事務・技術(人)	0. 20	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 30	0. 30	0.40	0.40	0. 40	0.40	0. 40
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0001

評価年度 令和 6年度

和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1001 政策調整部企画調整課 事務事業番号 00650 国際親善推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-50-00-01-00	国際親善推進費	産業観光部観光振興課
01-10-05-57-50-00-02-00	会計年度任用職員雇用経費	産業観光部観光振興課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)諸外国からの訪 問団受入回数		2. 00	3. 00	3.00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
问回支八回数	旦	2. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(活動)国際文化理解教 室の開催回数	回	40. 00	40. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00
主の用作四数		14. 00	21. 00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00	0.00
(成果)諸外国からの訪 問者受入人数	1	20. 00	30. 00	30.00	30.00	30.00	30.00	30. 00
问有文八八数		25. 00	18. 00	0.00	0. 00	0.00	0. 00	0.00
(成果)国際文化理解教	1	2, 000. 00	1, 000. 00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
室の受講者数	^	337. 00	557. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
<b>7</b> → 44 = ± / <del>+</del> <b>1</b>								

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	
1			С	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	行政交流を通じ姉妹友好者	部市との	の市民交流が実施できている。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	交流により市民同士の相互	<b>工理解</b> (	の機会を提供できた。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	外部委託化により事業を交	効率よ	く実施できている。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	
4			С	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	国際文化理解教室を通じて	(市民	の国際理解を促進している。	
	評価理由		•		

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
が妹友好都市等との行政交流を行いながら、引き続き市民主体の国際交流を側面的に支援していく。国際文化理解教室については、校園長会等の場で周知を行い、より多くの学校園への国際交流員の派遣を目指すとともに、地域にも積極的に出向くことで、幅広い年代の市民を対象に国際理解の促進を図っていく。
所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校等における国際文化理解教室の開催 める。	や、姉妹友好都市等との国際	交流を通じて市民の国際理解の促進に努

評価年度 令和 6年度 進捗区分 所属 1001 政策調整部企画調整課 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

総合計画 03 事務事業番号 00650		市総合計画 第2期 現善推進事業	男行計画				上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)諸外国からの訪	単位	令和 5年度 2.00	令和 6年度 3.00	<u>令和 7年度</u> 3.00	令和 8年度 3.00	<u>令和 9年度</u> 3.00	令和10年度 3.00	令和11年度 3.00
問団受入回数	日本語品	2. 00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	公式訪問者受入						
(活動)国際文化理解教 室の開催回数	回	40. 00 14. 00	40. 00 21. 00	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00
	指標説明	学校・園訪問や	出前講座における	開催回数				
(成果)諸外国からの訪 問者受入人数	人	20. 00 25. 00	30. 00 18. 00	30. 00 0. 00	30. 00 0. 00	30. 00 0. 00	30. 00 0. 00	30. 00 0. 00
门日又八八纵	指標説明	公式訪問者受入.	人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)国際文化理解教	人	2, 000. 00 337. 00	1, 000. 00 557. 00	600. 00 0. 00	600. 00 0. 00	600. 00 0. 00	600. 00 0. 00	600. 00 0. 00
室の受講者数	指標説明	教室の受講者数		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						<u> </u>		
						<u> </u>		
						1		
					•		•	
						1		
					<u> </u>		I	
							<b>1</b>	
							T	
					<u> </u>			
	<u> </u>							
							<u> </u>	
	1							

(単位:千円)

### 事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0002

成果(どのような 状態にするのか)

【コスト】

評価年度

所属

令和 6年度 進捗区分 評価完了 政策調整部企画調整課 1001

所属長名 伏見 亮平 記入者 小西 亜美

事務事業番号

00654 多文化共生推進事業

事務事業留亏 00004 【基本情報】	00034 夕久10.六生推進争未						
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針		と、スポーツを重視	引 多くの人が負	<b>直うまちを創り</b>			
基本政策		たで人が集い、にき					
施策	014 多文化共生・国際		. 17 7 8 510 0 8 7	<u>'</u>			
取組の方向性	002 多文化共生の地域						
事務事業	002 多文化共生推進事						
7107X	002 タストの大工ルとす	- *					
	+						
運営方法	民間委託		1	<u> </u>	<u>l</u>		
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
11	7135	工场机阻匹力	7135				
根拠法令等			<u> 1</u>				
1 年 1 公司 3	(事業概要)						
	国際化の進展に伴い外国人	市民が増加する由	で 国籍や民族だ	・どの卑かる人々も	が互いの文化的美異	を認め合いた	
	がら地域社会の一員として					で呼びたけい。な	
	から地域社会の 負として	CAICTSCOOL	「夕久に六工」社	.女の天坑で口田:	9 0		
事業概要							
	/ <b>古光</b>						
	(事業を取りまく社会環境)		見然 よた 切次 物	ナンドのタザルバン	#/ <b>-</b> 1.7		
	本市における在住外国人数	は瑁加傾向にめり	、国籍や仕留資格	などの多様化かず	<b>進んでいる。</b>		
*****	(見直しや改善等の経過)	=== 1.1.2			ジウセンスまずにし	フィマニロートレジュリ	
事業を取りまく社会	「大津市行政文書翻訳・通						
環境とこれまでの見直し	ービスの活用等により、外					年度より多又	
	化共生推進の担い手を増や	し、外国人市民と	地域がつながるた	:めの場所つくりる	を実施している。		
F							
【事業分析】		* 7 U 🗆 I + O U					
対象(何又は誰を)	言語や文化、生活習慣が異	なる外国人市民や	日本人巾氏を対象	(I_			
目的(何のために)	国籍や民族等の異なる人々が互いの違いを認め、尊重し合いながら、地域住民の一員として安心して生活できる						
	社会を実現させるため						
手段(どのようなやり方で)	行政文書の多言語化や窓口	等でのコミュニケ	ーション支援、関	係団体との多文化	ヒ共生推進事業の共	催等による啓	
	発活動により						

			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		ルコスト	8, 082	10, 689	12, 819	14, 167	14, 167	14, 167	14, 167
	事	業費	4, 462	4, 789	5, 739	7, 087	7, 087	7, 087	7, 087
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	4, 462	4, 789	5, 739	7, 087	7, 087	7, 087	7, 087
		u. +h = I	0 000	E 000	7 000	7 000	7 000	7 000	7 000

外国人市民が安心して生活できる環境を整備するほか、市民の多文化共生に対する理解を深め、多文化共生によ

7, 080 3, 620 5, 900 7, 080 7, 080 7, 080 7, 080 人件費計 事務・技術(人) 0.30 0.50 0.60 0.60 0.60 0.60 0.60 技能労務 (人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度任用(人) 0.40 0.50 0.60 0.60 0.60 0.60 0.60 0.00 0.00 0.00 0.00 嘱託(人) 0.00 0.00 0.00 臨時(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費

る地域づくりを推進する。

整理番号 0002

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1001 政策調整部企画調整課 事務事業番号 00654 多文化共生推進事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
ſ	01-10-05-57-50-00-05-00	多文化共生推進事業費	産業観光部観光振興課
ľ			
ſ	<u> </u>		

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)翻訳・通訳サポーター登録数	1	90. 00	95. 00	95.00	95. 00	95. 00	95. 00	95. 00
一步一豆稣数	^	87. 00	88. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(活動)関係団体との共 催事業の実施回数	0	5. 00	5. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
惟争未の夫他回数	쁘	2. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)行政文書翻訳件	件	100.00	100. 00	60.00	60.00	60.00	60.00	60. 00
<b>数</b>	1+	56. 00	57. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)多文化共生推進 事業への参加人数		2, 100. 00	2, 100. 00	200.00	250. 00	270. 00	300.00	300.00
争未べの参加人数	^	922. 00	501.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	
1			С	あまり妥当ではない	
				妥当ではない	
	評価理由	様々なツールや人材を活用	用しコ	ミュニケーション支援を行っている	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	多くの市民に多文化理解の	り機会	を提供できた。	
	効率性	事業手法は効率的であ		効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
				効率的でない	
	評価理由	ボランティアやツールの流	舌用に、	より効率的に事業が実施できている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	
4			С	あまり貢献していない	
				貢献していない	
	評価理由	多文化共生により地域づく	くりに	寄与している。	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
多文化共生ボランティアによる、外国人と地域がつながる交流の場づくりを引き続き進めていくことで、市民の国際理解を促進し、多文化共生による地域づくりを目指していく。また、令和6年度に行った関係課へのヒアリングを基にとりまとめた多文化共生推進事業の方針に基づき、新た
所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	日本語が不自由な外国人市民に対するコ 国人市民も、地域社会の一員として参画で		

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1001 政策調整部企画調整課 所属 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

総合計画 03 事務事業番号 00654	大津市総合計画 第2期実行計画 多文化共生推進事業                       上段:目標值 下段:実績値								
指標名	単位	令和 5年度 90.00	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	令和10年度 95.00	<u>令和11年度</u> 95.00	
(活動)翻訳・通訳サポーター登録数	人	87. 00	88.00	0.00	95. 00 0. 00	95.00 0.00	95. 00 0. 00	0.00	
	指標説明	翻訳・通訳のサ	ポーター登録をし						
(活動)関係団体との共 催事業の実施回数	回	5. 00 2. 00	5. 00 3. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	
	指標説明		に係る共催事業実		0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)行政文書翻訳件	件	100.00	100.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	
数	指標説明	56.00 毎年同程度の翻	57.00 訳依頼件数で推彩	0.00 多していることか	0.00 ら、令和7年度。	0.00 より目標値を下す	0.00 <u>0.00 </u> 7修正する。	0. 00	
(成果)多文化共生推進		2, 100. 00			250.00	270.00	300.00	300.00	
事業への参加人数	人	922.00	501.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	指標説明	令和7年度より作   わせる。	他団体からの依頼	<b>負に基つき関与し</b>	た事業について	も対象とするとと	もに、目標値を終	総合計画に合わ	
							<u> </u>		
		<u> </u>					<del></del>		
								_	
							<u> </u>		
							<u> </u>		
							<u> </u>		
								,	
	1								

整理番号 0003

所属

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1001 政策調整部企画調整課

所属長名 伏見 亮平 記入者 長谷川 祐介

事務事業番号 02376

大学連携関連事業

【基本情報】											
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画									
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります										
基本政策	004 つながりを大切に	し、共に支えある	まちにします								
施策	011 協働のまちづくり										
取組の方向性	003 大学との連携によ	003 大学との連携によるまちづくりの推進									
事務事業	001 大学連携関連事業										
運営方法	直営										
評価区分	対象	主な取組区分	対象								
根拠法令等											
	(事業概要)										
	大学の豊かな知的資源、人	的資源を十分に生	かしたまちづくり	を推進するため、	これまで協力協定を	締結してき					
	た8大学との連携や相互協	力を更に進めてい	くとともに、県内	の大学と自治体だ	が参加する環びわ湖大学	学・地域コ					
<b>声类柳</b>	ンソーシアムの連携事業に	参画し、協力関係	を拡充する。								
事業概要											
	(事業を取りまく社会環境)										
	大学においては、大学改革	等を背景に、地域	と連携した大学運	堂が重要な課題の	の1つとなっており、1	地域では少					
	子高齢化の進展等で地域コ										
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)		1010 1010 1010 101	-50 C 07 IJ/K & 71+77C 1	( )L    L	• • •					
環境とこれまでの見直し		 活性化に向けて、福祉や教育等の幅広い分野において連携事業に取り組むとともに、コロナ									
境界に これば Cの元直 O	禍により導入が進んだデジタル技術を活用したオンラインによる活動を継続するなど時代の変化に応じた事業を										
	両により等人が進んにアファル技術を沿角したオファインによる沿動を継続するなど時代の変化に応じた事業を   展開してきた。										
	Mem o ce ico										
【事業分析】											
対象(何又は誰を)	本市と協力協定を締結する	8大学や 瑨バわ	湖大学・地域コン	ソーシアムにおし	17						
こか(ご人)のmで/	THE WIND COMPANY OF THE PASS	これ子に、森の17	個八丁 心気コン	, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>							
目的(何のために)	大学の豊かな知的資源、人	的咨询を十八に出	かしたまたづノロ	た推准するため							
ロロッ(ドリリン/このバー)	八十の豆がは知り貝源、人	可見帰を干力に生	かしたまりづくり	で推進するだめ、							
手肌(じのとうためリナズ)		/ = b/- b/l									
手段(どのようなやり方で)	連携や相互協力を進めてい	くことにより、									
井田 / じの しこれ	<b>夕</b> 举儿。 <b>岩</b> 粉儿子 7 以 子 8	田野に 辺 生むって	おにせきのませる	サーレスをつう	トントフナナベノリナ	O #6.4					
成果(どのような	多様化、複雑化する地域の		<b>軟に対応のできる</b>	、魅刀と沽気のる	めふれるまちつくりを	日指す。					
状態にするのか)											

[ ]	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	タルコスト	2, 016	1, 760	2, 070	2, 070	2, 070	2, 070	2, 070
H.	事業費	300	200	510	510	510	510	510
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	C
	県支出金	0	0	0	0	0	0	C
	地方債	0	0	0	0	0	0	C
	その他	0	0	0	0	0	0	C
	一般財源	300	200	510	510	510	510	510
	人件費計	1, 716	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560
	事務・技術(人)	0. 22	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	C

評価完了

整理番号 0003

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 1001 政策調整部企画調整課 事務事業番号 02376 大学連携関連事業

【関連予算情報】

【为注了并用拟】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-09-50-00-36-00	大学連携関連事業費	政策調整部企画調整課

【定量評価】					•		上段:目標値	. 下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)大学との会議回 数	0	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
<b>奴</b>	Ш	14. 00	21. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大学連携相互協	市坐	330.00	330. 00	385. 00	390.00	395. 00	400.00	400.00
力事業数	事業	380. 00	416. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 豊かな資源を有する大学と 多分野において連携が図れている。 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がっている に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С D 上がっていない 評価理由 様々な分野の連携事業を実施し 目標値を上回る実施数となった。 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか В やや効率的である С あまり効率的でない D 効率的でない 評価理由 大学の資源の有効活用により、 事務事業の効率化が図れている。 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない C D 貢献していない 評価理由 多数の所属において様々な分野で大学との連携が図れている。 評価理由

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
令和6年度は、通年にはない国スポ・障スポや庁舎整備に関わるテーマで連携する機会を多く設けることができたことから、目標を上回る数の事業が実施できた。また、市内大学と情報交換の場を設け、地域連携部署の担当者と直接対話するなどにより、関係性が深められた。
今後も、全庁横断的に、継続した大学との連携に努めていく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	少子高齢化が進むなかで、地域コミュニ。若者の視点を活かし、新しいアイデアを立てることが重要である。今後も、学生のを強化していく。	地域活性化に結び付けること	や、大学側の知見を地域の課題解決に役

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 1001 政策調整部企画調整課 所属 総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 大学連携関連事業 02376

事務事業番号 02376 指標名	単位	連携関連事業	令和 6年度	△和 7年申	令和 8年度	令和 9年度	上段:目標値 令和10年度	ト段: 美領1 令和11年度
活動)大学との会議回	回	15. 00	15. 00	令和 7年度 15.00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
Ţ	当 指標説明	14.00	21.00	0.00	0.00	0.00 に関する会議出席	0.00	0. 00
	1日1示武功							
成果)大学連携相互協 ]事業数	事業	330. 00 380. 00	330. 00 416. 00	385. 00 0. 00	390. 00 0. 00	395. 00 0. 00	400. 00 0. 00	400. 00 0. 00
7	指標説明	大学と行政との	<u> </u>		0.00	0.00	0.00	0.0
			1	T	1	<u> </u>		
			1	<u> </u>	<u> </u>			
			1	<u> </u>	1	<u> </u>		
		1						
		+	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
				•				
			1	•	1			
			T	<u> </u>	I			
			1	1				
			1	•	1	1		
			•	•	•		•	
			Ī	1	1			
				<u> </u>				
			1		1	<u> </u>		
		†	1	I	I		Ι	
			1	<u> </u>				
			1					
			1	1	1		<u> </u>	
			1	<u> </u>	1			
					<u> </u>			
					_	_		
		+	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
			1	1	1		<u> </u>	
			1	1		<u> </u>	ı	
			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			

整理番号 0004

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

1003 所属 事務事業番号 01219 広報おおつ発行事業

政策調整部広報課

中島 真介 五十嵐 隆夫 所属長名 記入者

基本方針       003       安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります         基本政策       013       徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます         施策       035       開かれた市政の推進         取組の方向性       002       オープンデータ等による市政情報の発信         事務事業       004       広報おおつ発行事業         運営方法       直営         評価区分       対象       主な取組区分       対象	【基本情報】									
基本政策	総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画							
施棄	基本方針									
取組の方向性 002 オーブンデータ等による市政情報の発信 事務事業 004 広報おおつ発行事業	基本政策	013 徹底した行財政改	革を進め、確かな	な都市経営を進めま	す					
<ul> <li>事務事業 004 広報おおつ発行事業</li> <li>直営</li></ul>	施策	035 開かれた市政の推	進							
運営方法    直営	取組の方向性	002 オープンデータ等	による市政情報の	D発信						
評価区分   対象	事務事業	004 広報おおつ発行事	業							
評価区分   対象										
評価区分   対象										
評価区分   対象										
評価区分   対象										
根拠法令等  (事業概要) 広報おおつは、昭和25年4月の創刊以来、本市の行政情報の基幹的媒体としての役割を果たしている。当初は、タブロイド判8ページで作成していたが、平成15年8月1日号からは、A4判24ページにデザインも刷新し、毎月1日号・15日号の2回を基本として発行していた。令和6年5月1日号からは、A4判24ページにデザインも刷新し、発行回数4月1回に変更した。これに加え、同号からデジタル版(WEB版)の運用を開始した。広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することが多いまでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。  (事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが後ますま重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットや8NS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  (事業分析) 対象(何又は誰を)  全市民に対して  「即脈級及びインターネット等を活用して  「取集との市政(まちづくり)情報を広く提供するために	運営方法	直営			-					
(事業概要)	評価区分	対象	主な取組区分	対象						
(事業概要)										
<ul> <li>広報おおつは、昭和25年4月の創刊以来、本市の行政情報の基幹的媒体としての役割を果たしている。当初は、タブロイド判8ページで作成していたが、平成15年8月1日号からA4判16ページに刷新し、毎月1日号 - 15日号の20産基本として発行していた。令和6年5月1日号からは、A4判2 4ページにデザインも刷新し、発行回数も月1回に変更した。これに加え、同号からデジタル版(WEB版)の運用を開始した。広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することに加えて、ホームページやSNSでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。</li> <li>(事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが今後ますます重要になる。(見直しや改善等の経過)市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。</li> <li>(事業分析)</li> <li>対象(何又は誰を)</li> <li>全市民に対して</li> <li>「申職紙及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職紙及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職紙及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職紙及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職紙及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職組及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職組及びインターネット等を活用して</li> <li>「申職の共有化を図る。</li> </ul>	根拠法令等		•	•	•	•				
事業概要       、タブロイド判8ページで作成していたが、平成15年8月1日号からA4判16ページに刷新し、毎月1日号・15日号の2回を基本として発行していた。令和6年5月1日号からデジタル版(限B版)の適用を開始した。広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することに加えて、ホームページやSNSでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。         事業を取りまく社会環境)       (事業を取りまく社会環境)         広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。(見直しや改善等の経過)市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。         (事業分析]       対象(何又は誰を)         全市民に対して       市政(まちづくり)情報を広く提供するために         手段(どのようなやり方で)       印刷紙及びインターネット等を活用して         成果(どのような       行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。		(事業概要)								
事業概要 ・ 15日号の2回を基本として発行していた。令和6年5月1日号からは、A4判24ページにデザインも刷新し、発行回数も月1回に変更した。これに加え、同号からデジタル版(MED版)の運用を開始した。 広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することに加えて、ホームページやSNSでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。		広報おおつは、昭和25年4	4月の創刊以来、	本市の行政情報の	基幹的媒体として(	の役割を果たしている。当初は				
● 業・機要 し、発行回数も月1回に変更した。これに加え、同号からデジタル版(WEB版)の運用を開始した。 広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することに加えて、ホームページやSNSでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。  (事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】   対象(何又は誰を) 全市民に対して   印刷紙及びインターネット等を活用して   「市政(まちづくり)情報を広く提供するために   印刷紙及びインターネット等を活用して   「市政(まちづくり)情報を広く提供するために   「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国経験を行かる     「中国経験を行かる     「中国経験を行かる     「中国経験を行がる     「中国経験を行がる		、タブロイド判8ページで何	作成していたが、	平成15年8月11	3号からA4判1	6ページに刷新し、毎月1日号				
● 業・機要 し、発行回数も月1回に変更した。これに加え、同号からデジタル版(WEB版)の運用を開始した。 広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することに加えて、ホームページやSNSでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。  (事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】   対象(何又は誰を) 全市民に対して   印刷紙及びインターネット等を活用して   「市政(まちづくり)情報を広く提供するために   印刷紙及びインターネット等を活用して   「市政(まちづくり)情報を広く提供するために   「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国紙及びインターネット等を活用して     「中国経験を行かる     「中国経験を行かる     「中国経験を行かる     「中国経験を行がる     「中国経験を行がる	- Alle low									
広報おおつは、紙媒体とデジタル媒体の両方で発信することに加えて、ホームページやSNSでの発信など幅広い市民層への情報提供に努めている。  (事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報を信さるとが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を)  全市民に対して  「市政(まちづくり)情報を広く提供するために  「中政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。	<del>事</del> 業概要									
い市民層への情報提供に努めている。  (事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を)  全市民に対して  目的(何のために)  市政(まちづくり)情報を広く提供するために  「中刷紙及びインターネット等を活用して  「中刷紙及びインターネット等を活用して  「中刷紙及びインターネット等を活用して										
(事業を取りまく社会環境) 広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を)  全市民に対して  「市政(まちづくり)情報を広く提供するために  「中副紙及びインターネット等を活用して  「中国経験の表情に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  「本書のでは、まり見やすく、分かりでする。また、デジタル版の構築を行うとともに、インターネットのよりでする。また、デジタル版の構築を行うともに、インターネット等を活用して  「本書のでは、まり見いまする。」  「本書のでは、まり見いまするとの「本書のでは、まり見いまする」  「本書のでは、まり見いますると、「本書のでは、まりますると、「本書のでは、まり見いますると、「本書のでは、まり見いますると、「本書のでは、まりまする。」  「本書のでは、まりまする。「本書のでは、まりますると、「本書のでは、まりまする。」  「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」は、まりまする。「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」は、まりまする。」 「本書のでは、まりまする。」										
広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を) 全市民に対して  「申酌(何のために) 「申酌(何のために) 「申酌(であるうなやり方で) 「中副紙及びインターネット等を活用して 「申酌(であるうなやり方で) 「中副紙及びインターネット等を活用して			,, , , ,							
広報おおつは、市民が市政情報を知るための大切な媒体となっており、市民にとってより見やすく、分かりやすい広報紙を発行することが求められている。また、デジタル化が進む中において、デジタル版の広報おおつで情報発信することが今後ますます重要になる。 (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を) 全市民に対して  「申酌(何のために) 「申酌(何のために) 「申酌(であるうなやり方で) 「中副紙及びインターネット等を活用して 「申酌(であるうなやり方で) 「中副紙及びインターネット等を活用して		(事業を取りまく社会環境)								
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
事業を取りまく社会       報発信することが今後ますます重要になる。 <ul> <li>(見直しや改善等の経過)</li></ul>										
環境とこれまでの見直し (見直しや改善等の経過) 市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を) 全市民に対して  「市政(まちづくり)情報を広く提供するために  「中国紙及びインターネット等を活用して  「のようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して  「成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。	<b>事業を取りまく社会</b>			0.12( ) > ) /	· 20   1000 C	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
市民に分かりやすく読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にロゴなど一部リニューアルを行うとともに、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を) 全市民に対して  市政(まちづくり)情報を広く提供するために  「中政(どのようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して  「成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。			x / ± x   - 0 0 0							
に、インターネットやSNS等を活用した広報紙の発信に努めてきた。また、令和5年度には、より見やすく、分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。  【事業分析】 対象(何又は誰を) 全市民に対して  市政(まちづくり)情報を広く提供するために  手段(どのようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して  成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。	境界とこれな Cの光直し		いを動かす広報組	をめざして 亚成:	30年にロゴたど-	- 部リニューアルを行うととま				
分かりやすい広報紙を目指して、紙媒体のデザインリニューアルとデジタル版の構築を行った。   【事業分析】										
本業分析										
対象 (何又は誰を) 全市民に対して    一日的 (何のために)	【車業公析】	カルグドダい 仏報紙を日間に	して、心然中の方	<u> </u>	VC ) V V IV IIX V) 1	井木で 门 りた。				
目的(何のために) 市政 (まちづくり) 情報を広く提供するために 「	2 1 11112	全市民に対して								
手段(どのようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して	対象(円入は確と)	至市民に対して								
手段(どのようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して										
手段(どのようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して										
手段(どのようなやり方で) 印刷紙及びインターネット等を活用して	日的(何のために)		ナノ担併士てもみ	.1-						
成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。	日的(何のため)。)	「「「「「「「「「「「「「」」」   「「「「」」   「「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」   「「」」   「」」   「「」」   「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「」」   「「」」   「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「」」   「「」」   「「」」   「」」   「「」」   「」」   「「」」   「」」   「「」」   「」」   「」」   「」   「」」   「」」   「」」   「」」   「」」   「」」   「」」   「」	ムく徒供りるため	11-						
成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。										
成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。										
成果(どのような 行政と市民との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。	チ砕(ドのトラなわりナス)	CD 別紙 ひがくいん ニッカ・・・ しつ	空た活用して							
	<b>士权(CUよりはやり力じ)</b>	川柳祇及ひ1 ノダーネット	すで泊用して							
	+B/100124		<b>ごくい、はおっ</b> り	+ 1. + 5. 7						
状態にするのか)		行政と市民との市政(まち)	つくり)情報の共	1月化を凶る。						
	<b>状態にするのか</b> )									

<u> </u>	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	·タルコスト	90, 417	101, 418	104, 240	107, 706	107, 706	107, 706	107, 706
=	事業費	73, 461	84, 318	87, 140	87, 486	87, 486	87, 486	87, 486
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	4, 384	5, 035	5, 047	6, 061	6, 061	6, 061	6, 061
	一般財源	69, 077	79, 283	82, 093	81, 425	81, 425	81, 425	81, 425
	人件費計	16, 956	17, 100	17, 100	20, 220	20, 220	20, 220	20, 220
	事務・技術(人)	2. 10	2. 10	2. 10	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50
	技能労務 (人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 18	0. 18	0. 18	0. 18	0. 18	0. 18	0. 18
	嘱託(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
- 4	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0004

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1003 政策調整部広報課 事務事業番号 01219 広報おおつ発行事業

【関連予算情報】

【闵建了异情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-12-16-00-01-00	広報おおつ発行事業費	政策調整部広報課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)広報おおつHP		22. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
信回数	쁘	22. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)広報おおつホー	14	107, 000. 00	112, 000. 00	407, 600. 00	423, 200. 00	440, 000. 00	458, 000. 00	458, 000. 00
ムページ等年間アクセ ス数	件	135, 125. 00	392, 277. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<u></u>		ı			
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	1 1
1			С	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	<b>,</b> ,
	評価理由	市政情報等を市が主体。	となって紅	紙媒体等により情報を発信している	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	<b>.</b>
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	WEB版を含めた広報総	紙によりī	市政情報等の情報共有が図れている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	<b>.</b>
3			С	あまり効率的でない	
				効率的でない	
	評価理由		□え、ホ-	ームページ等での掲載も行っている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	<b>.</b>
4			С	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民が市政情報を知る力	こめの広	報媒体として有効であるため	
					1
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

現状維持

広報おおつは、市政情報の入手媒体として市民の認知が非常に高く、市政情報を発信する媒体としてとても重要な役割を担っている。
令和5年度に市民にとってより見やすく、分かりやすい市政情報となるよう広報おおつのリニューアルとともに、新たにデジタル版を構築し、令和6年5月号から運用を開始した。定量評価で定める広報おおつの発信回数が年22回から12回に減少し、これに連動して広報おおつホームページの年間アクセス数も前年からほぼ半減した。一方で、新たな取り組みである広報おおつWEB版については、令和6年度317,893回の表示回数となり、ホームページの表示数を大幅に上回った。今後も引き続き、紙媒体・デジタル版の両方で情報発信を行い、社会情勢や市民ニーズに合った形で、効果的に取り組みを進める。

【部局評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 総合計画第3期実行計画に掲げる「市政情報の発信」に取り組む上で、広報おおつは、市民に市政情報を確実に届け、情報を共有する媒体として重要な役割を果たしている。 市民ニーズに合わせて、紙媒体の発行回数の見直しやデジタル版への展開を行ったところであるが、今後もそれぞれの媒体の強みを生かしながら広く情報発信を行うとともに、ホームページ、SNS等とも連動した戦略的な広報に努める。

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1003 政策調整部広報課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 上段:目標値 下段:実績値 01219 広報おおつ発行事業 令和11年度 12.00 <u>令和 6年度</u> <u>令和 7年度</u> <u>令和 8年度</u> <u>令和 9年度</u> 12.00 12.00 12.00 12.00 令和10年度 12.00 指標名 (活動)広報おおつHP <u>令和 5年度</u> 22.00 単位 回 22.00 12.00 0.00 を閲覧できる情報の発 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 信回数 広報おおつのHPを閲覧できる情報(URL)の発信回数(令和3年度まで広報おおつ発行部数で評価、移行理 デジタル化の進展により、デジタル媒体での広報おおつの重要性が高まっているため) 107,000.00 112,000.00 407,600.00 423,200.00 440,000.00 458,000.00 (成果)広報おおつホー 件 ムページ等年間アクセ 135, 125. 00 392, 277. 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 広報おおつ関連ページ及びデジタル版の年間アクセス数(令和5年度まで広報おおつ関連ページへのアクセス数で評価、移行理由:デジタル版での展開によりホームページからデジタル版への移行が進むため) ス数

整理番号 0005

所属

評価年度 令和 6年度

1003 政策調整部広報課

進捗区分 評価完了

所属長名 中島 真介 記入者 五十嵐 隆夫

事務事業番号 01220 市政広報事業 【其本情報】

【叁个'肎牧】										
総合計画	03 大津市総合計画 第	第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み網	103 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	013 徹底した行財政改革	013 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます								
施策	035 開かれた市政の推進	₫								
取組の方向性	002 オープンデータ等に	002 オープンデータ等による市政情報の発信								
事務事業	005 市政広報事業									
運営方法	民間委託									
評価区分	対象	主な取組区分	対象							
根拠法令等										
事業概要	(事業概要) 市政情報を広く迅速に市民等 行っている。また、テレビ・ 提供に努めている。									
	(事業を取りまく社会環境) 報道を通じての情報は影響力 一に情報を発信するためイン									

環境とこれまでの見直し

事業を取りまく社会

その他経費

報道を通じての情報は影響力も入さく、報道機関への印政情報の情報先信は非常に里要である。また、ダイムリーに情報を発信するためインターネット等を活用した情報 提供が求められている。

(見直しや改善等の経過) 平時・緊急時における適切かつ組織的な報道対応を図るために広報ガイドラインの改訂を行った。

また、市政広報番組やホームページ等での適時適切な情報発信や市民にとって分かりやすい情報となるよう改善

に努めてきた。

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民を中心としたすべての者に対して
目的(何のために)	市政(まちづくり)情報を広く提供するため、
113(130)(20)(2)	
手段(どのようなやり方で)	報道機関、テレビ、ラジオ、インターネットを活用して
一子段(とのようなやりがく)	秋垣城夷、アレビ、ブンカ、インメーベンドで心力して
成果(どのような	行政と市民等との市政(まちづくり)情報の共有化を図る。
状態にするのか)	

[ ] ;	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
<b>├</b> —:	タルコスト	91, 017	82, 227	74, 515	75, 175	75, 175	75, 175	75, 17
事	業費	60, 913	51, 227	43, 515	46, 515	46, 515	46, 515	46, 51
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	1, 792	1, 793	1, 733	1, 733	1, 733	1, 733	1, 73
	一般財源	59, 121	49, 434	41, 782	44, 782	44, 782	44, 782	44, 78
人	、件費計	30, 104	31,000	31, 000	28, 660	28, 660	28, 660	28, 66
	事務・技術(人)	3. 40	3. 40	3. 40	3. 10	3. 10	3. 10	3. 1
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	会計年度任用(人)	1. 12	1. 12	1. 12	1. 12	1. 12	1. 12	1. 1
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

IP27P040 -13-

整理番号 0005

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1003 政策調整部広報課 事務事業番号 01220 市政広報事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
Г	01-10-05-12-50-00-01-00	市政広報事業費	政策調整部広報課
Г			
Г			

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)情報発信媒体数	種類	10. 00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	性块	15. 00	17. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)ホームページ公 開依頼件数	件	8, 000. 00	8, 000. 00	8, 000. 00	8, 000. 00	8, 000. 00	8, 000. 00	8, 000. 00
用似棋针数	1+	9, 985. 00	10, 865. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)報道機関がとり あげる年間報道件数	件	1, 525. 00	1, 700. 00	1, 700. 00	1, 700. 00	1, 700. 00	1, 700. 00	1, 700. 00
のいる平间報担任数	1+	1, 274. 00	1, 086. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)ホームページの	T JH	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00
総アクセス数	千件	12, 811. 00	11, 497. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】								

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			Δ	妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	広報媒体に応じた主体に。	よる運2	営を行っている	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	デジタル・SNSの活用に	こよりi	市政情報を発信している	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	民間委託等により効率的・	・効果的	的に運用している	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	ΛΙ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	タイムリーに必要な情報を	・発信	している	
	評価理由		•		

【所属評価結果】

総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

現状維持

令和6年度の年間報道件数は1,086件となり、コロナ禍の減少から戻りつつあるものの、コロナ禍前には及ばない状況である。新聞の発行部数の減少や夕刊の廃止、市政記者の配置体制の変化などにより、本市に関する記事掲載が減少しているものと考える。また、ホームページについては総アクセス数が約11,497千件と、コロナ禍前の水準に戻りつつある。一方で、昨年度はリニューアルに取り組み、トップページのデザインやスマートフォンからの閲覧・操作がよりしやすいデザインへの変更、目的の情報へさらにスムーズにたどり着けるようメニューやカテゴリの再編成等を行った。引き続き、積極的なプレスリリースに努めながら、ホームページを核として、市民へ直接発信することができるSNSを活用するなど、情報ごとに最適な広報媒体を見極めながら、あらゆる市政情報を効果的かつタイムリーに発信していく。

【部局評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 総合計画第3期実行計画に掲げる「市政情報の発信」に取り組む上で、プレスリリースやホームページは、市民に情報を届ける手段として重要な媒体である。今後も、積極的にプレスリリースに努めるとともに、ホームページやSNS等を通じて適時適切な情報発信に 取り組む。また、職員一人ひとりが市役所の顔となり、適切な情報発信ができるように職員の意識改革も図る。

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1003 政策調整部広報課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01220 市政広報事業 上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	ム報事業   令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	上段: 日標個 令和10年度	ト段:美額値 令和11年度
(活動)情報発信媒体数	種類	10.00	10.00	10. 00	10.00	10.00	10.00	10.00
	指標説明	15.00 情報発信媒体の <sup>2</sup>	17.00 丰間種類数	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
/江手/ エーノ ぬっご ハー		8, 000. 00		0 000 001	8, 000. 00	0 000 001	0 000 001	8, 000. 00
(活動) ホームページ公 開依頼件数	件	9, 985. 00	10, 865. 00	0.00	0.00	8, 000. 00 0. 00	8, 000. 00 0. 00	8, 000. 00 0. 00
	指標説明	各課からホーム	ページに公開登録	を依頼される件	数			
(成果)報道機関がとり	件	1, 525. 00	1, 700. 00	1, 700. 00	1, 700.00	1, 700.00	1, 700. 00	1, 700. 00
あげる年間報道件数	'' 指標説明	1,274.00 年間報道件数(F	1,086.00 R 2 までは市役所	0.00	0.00 の年間資料提供件	0.00	0.00	0. 00
(成果)ホームページの		13, 000. 00		13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00	13, 000. 00
(成果) ホームペーシの 総アクセス数	千件	12, 811. 00	11, 497. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	市ホームページの	D総アクセス数					
						l		
		<u> </u>						
			•	•	•	•	•	
					-			
			•	•	•	•	1	
			I	I	I	I		
		1				•	1	
		<del> </del>			1			
			L	L		L	<u> </u>	
					1	1		
		1	I	I	1		F	
					$\overline{}$		$\overline{}$	
		1	I	I	I	[	T	
			l			<u>l</u>	L	
P27P050				1 F				

整理番号 0006

評価年度

令和 6年度 進捗区分 評価完了 1209 政策調整部市政情報課

所属長名 目片 善比古 田丸 雅彦 記入者

所属 事務事業番号 01221

文書管理改善推進事業 【其太情報】

【基本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住み	続けることのでき	きる活力のあるまちを	き創ります				
基本政策	013 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます							
施策								
取組の方向性	001 知る権利を尊重し	た情報公開の推進	<u>É</u>					
事務事業	001 文書管理改善推進	事業						
運営方法	直営							
評価区分	対象	主な取組区分	対象外					
根拠法令等	大津市文書取扱規程							
事業概要	(事業概要) 情報公開及び個人情報保護制度の適正な運用を念頭に置き、公文書の整理、保存等についての制度を統括し、必要に応じて支援や助言を行うことで庁内における文書管理の適正化、効率化を図っている。これまでから全職員を対象に「個人情報保護・情報公開研修及び文書管理研修」を実施するとともに、文書管理システムの活用により、適正かつ効率的な文書管理の推進に努めている。また、毎年8月を文書整理月間と位置づけ、更なる文書管理(整理・保存・廃棄等)の徹底を図っている。							
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	請求の増加等に適切かつ迅 (見直しや改善等の経過)	速に対応するため 修(オンライン)	、更なる文書管理の を実施している。適	適正化が求めら 正な文書管理に	努めるため、令和5年8月に「			
【事業分析】								
対象(何又は誰を)	公文書について、							
目的(何のために)	文書の作成-整理-保存-月	廃棄の円滑な実施	のため、					
手段(どのようなやり方で)	文書管理システムの利用、	文書整理月間の実	施、公文書一斉廃棄	の実施、文書庫	への引継ぎ などにより、			
成果(どのような 状態にするのか)		的な文書管理を行	う。					

[	コス	[ F ]							(単位:千円)
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
۲.	トータルコスト		14, 789	15, 040	19, 127	19, 315	19, 315	19, 315	19, 315
=	事	業費	3, 037	3, 080	3, 657	3, 845	3, 845	3, 845	3, 845
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	263	282	359	304	304	304	304
		一般財源	2, 774		3, 298	3, 541	3, 541	3, 541	3, 541
	人	件費計	11, 752	11, 960	15, 470	15, 470	15, 470	15, 470	15, 470
		事務・技術(人)	1. 40	1. 40	1. 85	1.85	1. 85	1. 85	1. 85
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
		再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
		会計年度任用(人)	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26
		嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
		臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	そ(	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0006

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 1209 政策調整部市政情報課 事務事業番号 01221 文書管理改善推進事業

【関連予算情報】

【为注了并旧拟】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-21-45-00-01-00	文書管理改善推進事業費	政策調整部市政情報課

【定量評価】 上段:目標値 下段:実績値 単位 令和10年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 指標名 令和11年度 (活動)文書管理研修参 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 加率 参加率(%) 99.67 94. 20 0.00 0.00 0.00 0.00 0 00 (成果)文書管理研修テ 80.00 80.00 80.00 80.00 80.00 80.00 80.00 スト正答率 正答率(%) 96.77 97.31 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

ᆫ					
_[	定性評価】			11.14	t
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	
1			С	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	研修の実施時期が適切でな	なかった		
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{A}$
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	テスト正答率は前年より[	向上した		
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
	[···	るか	В	やや効率的である	Λ
3			C	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
			D	効率的でない	/ \
	評価理由	オンライン研修により、3		よ受講環境を維持できている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献		貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
				貢献していない	/ \
	評価理由	事業推進が市政の透明化		れた市政の推進に貢献している	
	M I Ibre	于水准之心 小鸡(少是)	171770	C. C. D. S. C. C. L. S. C.	
1					
			<u> </u>		

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
令和5年8月に「文書事務の手引」を改正し、同年10月に「大津市公文書運用方針」を策定する等、職員の公文書管理意識の向上に努めてきた。職員研修においては、活動指標である文書管理研修の参加率が若干低下したが、文書管理研修後のテストの正答率は前年度に比べ上昇した。引き続き、より効果的な研修内容となるよう工夫するほか、対象者全員が参加しやすい時期や手段を検討し、職員の公文書管理意識の醸成に努める。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	公文書の適切な取扱いと管理は、情報公開市民共有の知的資源であって、市政を市民、職員の公文書の管理等に関する意識の向	に説明するために必要不可欠	

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1209
 政策調整部市政情報課

 総合計画
 03
 大津市総合計画 第2期実行計画

 事務事業番号
 01221
 文書管理改善推進事業

事務事業番号 01221 文書管理改善推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01221	文書管	<b>曾理改善推進事業</b>					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)文書管理研修参	単位	令和 5年度	令和 6年度 100.00	令和 7年度 100.00	令和 8年度 100.00	令和 9年度 100.00	令和10年度	令和11年度 100.00
(活動)文書管理研修参	参加率(%)	<u>令和 5年度</u> 100.00 99.67	100.00	100.00	100.00	100.00	<u>令和10年度</u> 100.00 0.00	100.00
加率		99.6/	94.20 参加率(受講率)	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	1日1示武功	又音官理研修の	<b>参加举(文碑举)</b>					
(成果)文書管理研修テ	正答率(%)	80.00	80.00	80.00	80.00	80. 00 0. 00	80. 00 0. 00	80. 00
スト正答率		96.77	97. 31	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0.00
	指標説明	文書管理研修テ	スト正答率					
						1		
		<u> </u>						
		<del> </del>						
		1						
		ļ						
			•				•	
					1			
	<u> </u>	ļ			<u>-</u>			_
		1						
	-	<del> </del>						
		<u> </u>						
		<del> </del>						
		1						
		<del> </del>						
		ļ						
	+	<del>                                     </del>						
	1	<del>                                     </del>				1	ı	
			•				L	
		<u> </u>						
P27P050								

整理番号 0007

評価年度 令和 6年度 所属

進捗区分 評価完了 政策調整部情報政策課 1218 事務事業番号 01210 地域情報化推進事業

所属長名 保田 裕貴 記入者 竹中 慎哉

【基本情報】

【卒个用刊】					
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住み約	売けることのでき	る活力のあるまちを創りる	ます	
基本政策	013 徹底した行財政改革	革を進め、確かな	都市経営を進めます		
施策	033 社会状況の変化に対	対応した持続可能	な都市経営		
取組の方向性	002 デジタル行政の実現	見			
事務事業	012 地域情報化推進事業	Ě			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	(事業概要) 社会のデジタル化が進展する 十分なサービスを活用できる 民の利便性やサービスの向上 ANであるびわ湖フリーWi ことを促進し、地域の情報化	よう出前講座等 を図るため、メ F i の設置促進	により、デジタルデバイト 一ル配信システムや、滋賀	の解消にむけた 引県が主体となっ	取組を進める。また、市 て進める無料公衆無線 L
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国の策定した自治体DX推進計画において、デジタル技術の更なる活用による市民の利便性の向上が求められている。 (見直しや改善等の経過) 引き続き、デジタルデバイド解消に向けて出前講座へのメニュー登録をはじめ、民間業者と連携してスマホ教室やスマホ相談会を開催し、事業の拡充に努めた。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民を対象に、
目的(何のために)	地域情報化の推進を目指して、
手段(どのようなやり方で)	メール配信サービスなどを活用し地域社会や市民に情報を提供するとともに、スマホ教室やスマホセミナー等を 開催し、
成果(どのような 状態にするのか)	市民とって必要な情報提供やデジタルデバイドの解消を図る。

【コスト】 (単位:千円)

			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
۲-	-タ	ルコスト	41, 730	17, 539	38, 233	32, 336	32, 336	32, 336	32, 336
	事	業費	27, 050	3, 007	23, 993	18, 096	18, 096	18, 096	18, 096
		国庫支出金	1, 094	0	10, 000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	500	0	0	0	0
		一般財源	25, 956	3, 007	13, 493	18, 096	18, 096	18, 096	18, 096
	人化	牛費計	14, 680	14, 532	14, 240	14, 240	14, 240	14, 240	14, 240
		事務・技術(人)	1. 80	1. 74	1. 80	1. 80	1. 80	1. 80	1. 80
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	0. 20	0. 24	0. 05	0. 05	0.05	0. 05	0. 05
		嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	そ(	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0007

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1218 政策調整部情報政策課 事務事業番号 01210 地域情報化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-19-30-00-01-00	地域情報化推進事業費	政策調整部情報政策課

【定量評価】	•	•		•			上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)スマホ教室の参 加割合	%	0. 00	75. 00	75. 00	75. 00	75. 00	75. 00	75. 00
/ 기 취 다	70	0. 00	35. 36	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)スマホ教室の満	0/	0. 00	80. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
足度	%	0. 00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)熱心まちづくり 出前講座実施件数	0	9. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
山 削	Ш	6. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)出前講座の満足	0.4	80.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
度	%	82. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			C	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			Δ	妥当ではない	•
	評価理由	地域情報化とデジタルディ	バイドダ	対策は重要で実施すべき事業である	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	O	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	参加割合は低いものの満足	度は	目標を上回っている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	ΛΙ
3			O	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
			D	効率的でない	
	評価理由	民間事業者と連携した事業	美の推注	<b>進ができている</b>	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	$\Lambda$
4			O	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
				貢献していない	•
	評価理由	地域情報化とデジタルディ	<b>バイド</b> オ	対策は自治体DX推進に資するもの	
	評価理由				

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	スマートフォンは、個人がオンライン手 前講座や民間事業者と連携したスマホ教室 取り組む。 なお、令和6年度から、定量評価指標を 足度は100%に達した。一方、参加割合が関 う、広報周知に努める。	、スマホ相談会などを開催し 「スマホ教室の参加割合」及	、引き続き、デジタルデバイドの解消にび「スマホ教室の満足度」に見直し、満

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	スマホ教室や相談会に参加いただいた方の	満足度は非常に高いものの、	参加割合が減少していることから、一人
	でも多くのデジタル機器等に不慣れな方に	芝参加いただけるよう、開催場	所などを工夫するよう努めていく。
部局コメント			
(400文字)			

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 01210 地域情報化推進事業

事務事業番号 01210		情報化推進事業 情報化推進事業					上段:目標値	
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度 75 00	令和 7年度 75 00	令和 8年度 75 AA	令和 9年度 75 00	令和10年度 75.00	令和11年度 75.00
(活動)スマホ教室の参加割合	%	0. 00 0. 00	75. 00 35. 36	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00
24 L 1 L	指標説明	社会のデジタル	化に対応するため	り、スマートフォ	ンやパソコンなん	どのデジタル機器	に不慣れな方々	が、安全安心
(成果)スマホ教室の満		<u>かつ十分なサー</u> 0.00	<u>ビスを利活用でき</u> 80.00	きるようになるた 100.00	<u>めのスマホ教室へ</u> 100.00	への参加割合。 100.00	(令和6年度から 100.00	<u>設定)</u> 100.00
足度	%	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	実施したスマホ	教室が分かりやす	けかったかどうか	について満足度	として評価する。	(令和6年度か	ら設定)
(活動)熱心まちづくり		<u> </u>	<u>満足度100%を達</u> 0.00	成したため、宣本 0.00	11/年度以降は10 0.00	<u>0%を維持するこ</u> 0.00	.とを目標とする 0.00	0.00
出前講座実施件数		6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	社会のデジタル	化に対応するため ビスを利注用でき	り、スマートフォ <sub>もる ヒ</sub> ュにかるた	ンやパソコンない	どのデジタル機器 実体供物 (会到	に不慣れな方々	が、安全安心
(成果)出前講座の満足	%	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
度	指標説明	82.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00 (令和5年度をも	0.00
	1日1末の1797	天心 した山削縄	座が力がり やすん	いうたかとうかに	. プいて両足及と	して計画する。	「中和り牛皮をも	り(廃止)
			<u> </u>					
			1	1	ı		1	
					-			
	<del> </del>	<del> </del>	ı	<u> </u>	Ι		1	
		1						
		1						
					_			
			I.					
			1		I			
			1	<b>.</b>	T			
			-	-	-	_		
	-	<del> </del>	ı				1	
		1						
	<u> </u>							
		<del> </del>	<u> </u>		<u> </u>			
	ļ		1	<b>I</b>	ı			
		<del>                                     </del>	ı	<u> </u>	I			
	<del> </del>							
ID27D0E0	1	1						

整理番号 8000

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 政策調整部情報政策課 所属 1218 事務事業番号 01230 電子市役所推進事業

所属長名 保田 裕貴 記入者 竹中 真哉

【基本情報】

【基本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	013 徹底した行財政改	革を進め、確かな	おおお経営を進めま	す				
施策	033 社会状況の変化に	対応した持続可能	能な都市経営					
取組の方向性	002 デジタル行政の実	現						
事務事業	011 電子市役所推進事	業						
運営方法	その他							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等		-						
事業概要	(事業概要) 令和6年度からの5か年を単 ビスの向上と行政事務の効率 定したシステム運用に努める	を化を推進する。	また、情報システム	ムのコスト削減やセキ	ーュリティの向上に努め、安			
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国においては、「自治体D〉 デジタル技術の利活用により ステムの標準化に関する法律	社会のデジタル	化の推進が図られて	ている。また、国が定	めた「地方公共団体情報シ			

_【争耒分析】	
対象(何又は誰を)	市民及び職員を対象に、
目的(何のために)	電子市役所の推進のため、
手段(どのようなやり方で)	最新のICT技術を活用することにより、
成果(どのような 状態にするのか)	安定した行政サービスの提供と行政事務の効率化が図られる。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	-タルコスト	1, 268, 830	1, 968, 292	2, 474, 070	2, 419, 237	2, 775, 173	2, 380, 765	2, 312, 594
-	事業費	1, 202, 140	1, 888, 288	2, 390, 286	2, 335, 453	2, 691, 389	2, 296, 981	2, 228, 810
	国庫支出金	0	8, 353	6, 684	33, 887	8, 899	8, 899	8, 899
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	37, 843	425, 839	682, 439	319, 913	44, 400	44, 400	44, 400
	一般財源	1, 164, 297	1, 454, 096	1, 701, 163	1, 981, 653	2, 638, 090	2, 243, 682	2, 175, 511
l [	人件費計	66, 690	80, 004	83, 784	83, 784	83, 784	83, 784	83, 784
	事務・技術(人)	8. 55	9. 98	10. 48	10. 48	10. 48	10. 48	10. 48
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用 (人)	0.00	0. 54	0. 51	0. 51	0. 51	0. 51	0. 51
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0008

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1218 政策調整部情報政策課 事務事業番号 01230 電子市役所推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-19-21-00-01-00	電子市役所推進事業費	政策調整部情報政策課
_		

【定量評価】		•	•	•	•	•	上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)行政手続きのオ ンライン化実施手続数	手続き数	300.00	320. 00	340. 00	350.00	350.00	350.00	350. 00
(累計)	ナボ ご 奴	315. 00	369. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)行政手続きオン	0/	79. 00	90. 00	90.00	90.00	90.00	90.00	90. 00
ライン化済年間取扱件 数比率	%	71. 10	71. 60	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

[	定性評価】	•			•
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	市として適切にデジタル行	う政を!	推進している	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	一定、効率化は図れている	るが取れ	极件数比率を向上させる必要がある	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由	市民サービスの向上に効果	果的では	ある	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	貢献していない	
	評価理由	持続可能な都市経営にデジ	ジタルイ	行政の推進は必要な取組である	
					•
	評価理由		·		

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
「大津市DX戦略」に基づき、情報システムのクラウド化や高度なセキュリティ対策を行い、より強固で安全なシステム運用に努めるとともに、デジタル技術の活用により、市民生活の利便性向上と事務の効率化・高度化や行政コストの軽減などを図る。また、自治体情報システム標準化の対応について、国の動向を注視し、業務所管課や開発事業者と連携を密にし、順次標準準拠システムへの移行を進める。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	国のデジタル田園都市国家構想を踏まえ、	「大津市DX戦略」に定める	「行政経営の視点」、「市民の暮らしの
	視点」、「まちづくりの視点」、「インフ	'ラ・セキュリティの視点」の	4 つの視点に基づき電子市役所の推進を
	図る。また、国などの動向を注視しながら	、自治体情報システムの標準	化の取組を適切に進める。
部局コメント			
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1218
 政策調整部情報政策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 01230 電子市役所推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01230	電子市	方役所推進事業 						下段:実績値
指標名 (活動)行政手続きのオ	単位	令和 5年度 300.00	令和 6年度 320.00	令和 7年度 340.00	<u>令和 8年度</u> 350.00	<u>令和 9年度</u> 350.00	令和10年度 350.00	令和11年度 350.00
ンライン化実施手続数	手続き数	315.00	369.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(累計)	指標説明	大津市デジタル・ に変更	イノベーション戦	<b>战略における「電</b>	子申請の推進」(	こ基づき、令和2	年度より実電子の	申請手続き数
(成果)行政手続きオン	%	79.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
ノインルが平町収扱件(	指標説明	71.10	71.60	0.00	0.00	0.00	0.00 年間取扱件数比	0.00
<b>双</b> 几平	阳标武功	。 (オンライン	古動拍標に建携し <u>化済の行政手続の</u>	ルに成条拍標と9 <u>)年間申請件数/</u>	るため行政手続き <u>すべての行政手</u> 続	きオンライン化源 読 <u>の年間申請件数</u>	[平间取扱件致比 <u>。</u> [	半で設定する
							,	
		<u> </u>		<del></del>			, ,	
		1					ı	
			1		1			
							<u> </u>	
			1		1			
		<del> </del>						
							-	
IP27P050		<u> </u>		0.4				

安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります

大津市総合計画 第2期実行計画

整理番号 0009

基本方針

評価年度令和 6年度所属1024

令和 6年度進捗区分評価完了1024政策調整部DX推進室

003

所属長名出 大輔記入者中村 祥吾

事務事業番号 03840 データ活用推進事業

 【基本情報】
 03

基本政策	013 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます						
施策	035 開かれた市政の推進						
取組の方向性	002 オープンデータ等による市政情報の発信						
事務事業	010 データ活用推進事業						
				<u> </u>			
運営方法							
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
1   Im p= 73	7136	工场机组厂为	7138				
根拠法令等			I.	L.	<b>'</b>		
事業概要	推進することで、適切かつ 研修を行うとともに、本市	う効率的な行政運営 すとの協定に基づい ごジネスの創出及び	を目指すもの。全 て、滋賀大学デー 行政の透明性向上	庁的なEBPM推 タサイエンス学部 による「企業活動	基づく政策立案(EBPM) 進のため、部局横断的に分析 とも連携し、事業を進める。 や地域の活性化」を目的とし	řΦ	
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し		会に向けて厳しい財子のではいいができます。	政的制約の中で適 政運営を進める重	要性が高まってい	要であることから、証拠に基 る。また、オープンデータの 要な課題である。	-	
【事業分析】							
対象(何又は誰を)	市民や事業者に対して、						
目的(何のために)	企業活動や地域の活性化及	なび政策効果の最大	化ために、				
手段(どのようなやり方で)	市の保有する情報のオース表することで、	プンデータ化を推進	しつつ、庁内デー	タや各種オープン	データを分析し、その結果を	公	
成果(どのような 状態にするのか)	市政情報の発信を通じた行	<sub>丁政の透明性や信頼</sub>	性の向上を目指す	もの。			

[ ]	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
<b> -</b>	-タルコスト	14, 766	20, 460	17, 892	21, 003	21, 250	21, 250	21, 250
1	事業費	552	3, 670	1, 492	4, 603	4, 850	4, 850	4, 850
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	552	3, 670		4, 603	4, 850	4, 850	4, 850
[	人件費計	14, 214	16, 790	16, 400	16, 400	16, 400	16, 400	16, 400
	事務・技術(人)	1. 81	2. 05	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 03	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
-	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0009

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1024
 政策調整部DX推進室

データ活用推進事業

事務事業番号 03840 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-09-50-00-40-00	データ活用推進事業費	政策調整部情報政策課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)研修会の開催回	0	3. 00	3. 00	8. 00	8. 00	9. 00	9. 00	10. 00
数	쁘	6. 00	8. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動) 公開中のオープンデータの件数	件	516. 00	540. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
ファーダの件数	<del>  -</del>	494. 00	475. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)国が推奨するオ	件	0.00	0. 00	16.00	19. 00	22. 00	25. 00	28. 00
ープンデータセットの 件数	<del>                                      </del>	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)データ分析の実	件	10. 00	10. 00	15. 00	18. 00	21.00	24. 00	27. 00
施数	1 <del>1+</del>	11. 00	13. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00

_[	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	効率的な行政運営は重要で	であり、	、推進を図っていく必要がある。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	「市民の声」分析等13件	牛の分	折を行い、有効な成果を得た	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3				あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
				効率的でない	
	評価理由	分析レベルに応じ、委託第	業者の	支援を得て効果的に分析を行った。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	貢献していない	
	評価理由	効率的な行政運営と行政の	の透明性	生の向上に資するものである。	
	評価理由				•

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	人口減少、少子高齢社会の到来に向けて、 結果に基づき政策決定を行うEBPMの重 点計画」などの国の指針を念頭に置き、市 た人材育成や庁内連携を進めていく。	要性が増している。このこと	から、「デジタル社会の実現に向けた重

 評価年度
 令和6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1024
 政策調整部DX推進室

 総合計画
 03
 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 03840		タ活用推進事業	A10.055			A10.05.5		下段:実績値
指標名 (活動)研修会の開催回	単位	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>令和 8年度</u> 8.00	<u> </u>	令和10年度 9.00	令和11年度 10.00
数	指標説明	6.00	8.00 勝員を対象とした	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
/江梨 / 0 明 士 の 上	10 124 126 -21						0.00	0.00
(活動) 公開中のオープ ンデータの件数	件	516. 00 494. 00	540. 00 475. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00
	指標説明				いるオープンデ- 指標を廃止する。	−タの数。		
(活動)国が推奨するオ	件	0.00	0.00	16.00	19.00	22. 00	25. 00	28. 00
一プンデータセットの  件数	指標説明	<u>0.00</u> 国が推奨するオ・	0.00 ープンデータセッ	0.00 ットのデータをオ	0.00 ·ープンデータポ-		0.00 開している件数。	<u>0.00</u> (令和7年
 (成果)データ分析の実		度から設定) 10.00	10.00	15. 00	18. 00	21. 00	24. 00	27. 00
施数	件	11.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明		営、委託)を実施					
(成果) 大津市オープン データポータルサイト	回	24, 000. 00 836, 846. 00		0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00
の閲覧数	指標説明	サイトの年間閲!	覧数。令和 5 年度	度の実績値は、機	械的な検索と思れ	つれるアクセスが	バー定期間あったた	
		他とし、火年度	以降も止催な剱制	<u>■か測定できない</u>	ことから、令和は	9 年度をもつ(指	<b>標を廃止する。</b>	
			_	Т	1			
							l l	
		+						
							<u> </u>	
				I	1		г т	
					<u> </u>		<u> </u>	
		<u> </u>		T	·			
		<u>                                     </u>						
				<u> </u>	<u> </u>			
		+					<u> </u>	
		+					Т	
		<u> </u>		1	,			
							•	
IP27P050	<u>i                                      </u>	1						

整理番号 0010

評価年度 令和 6年度 1024 所属

進捗区分 評価完了 情報政策推進事業

政策調整部DX推進室

所属長名 出 大輔 記入者 中村 祥吾

事務事業番号 03863 【基本情報】

【本本用報】									
総合計画	03 大津市総	合計画 第2期実行計画	•						
基本方針	003 安心、快	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	013 徹底した								
施策	033 社会状況	033 社会状況の変化に対応した持続可能な都市経営							
RAMO方向性 002 デジタル行政の実現									
事務事業	008 情報政策	推進事業							
運営方法	直営								
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等									
事業概要	が多様化する状況		能) をはじめとし		スの普及によって、市民ニーズ 信技術)を活用することで、市				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	国においては、「国の政策・計画に対		ジタル社会の実現 し、デジタル化の	の推進に向けた取組	」等の方針が出され、自治体は が求められている。DX推進室				

「車	*	卆	析	1

【书未力划】	
対象(何又は誰を)	市民の暮らしや行政事務に対して、
目的(何のために)	社会・経済情勢が大きく変化し、行政に対する市民ニーズが多様化、複雑化する状況下において、市民の利便性 向上や、行政事務の効率化を推進するために、
手段(どのようなやり方で)	ICT等の先進技術を導入することで、
成果(どのような 状態にするのか)	行政サービスの効率化や市民の利便性の向上を図るもの。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	ルコスト	67, 417	76, 222	83, 939	165, 406	121, 884	127, 384	121, 884
事	業費	45, 587	55, 122	62, 371	143, 838	100, 316	105, 816	100, 316
	国庫支出金	356	0	9, 218	28, 131	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	600	3, 064	3, 064	3, 064	3, 064
	一般財源	45, 231	55, 122	52, 553	112, 643	97, 252	102, 752	97, 252
人们	牛費計	21, 830	21, 100	21, 568	21, 568	21, 568	21, 568	21, 568
	事務・技術(人)	2. 77	2. 50	2. 56	2. 56	2. 56	2. 56	2. 56
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 07	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40
	嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0010

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1024 政策調整部 D X 推進室 事務事業番号 03863 情報政策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-19-21-00-02-00	情報政策推進事業費	政策調整部情報政策課

【定量評価】	•				•		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)大津市DX戦略 関連事業数	事業数	75. 00	81. 00	0. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00
	争未奴	75. 00	82. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)大津市DX戦略 関連事業の指標設定率	%	0. 00	0. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	90	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大津市DX戦略 関連事業の達成率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	70	100. 00	58. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】	-			
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	ICTを活用した行政運営	営に取	り組みは重要である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	行政サービスの効率化等し	こ向け	事業を実施した。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	lacksquare
			D	効率的でない	
	評価理由	各事業をDX戦略本部で-	-元管	理して、効率的に実施した。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$oldsymbol{\wedge}$
			D	貢献していない	, .
	評価理由	ICTの活用により、市民	民の利	便性向上や事務効率化に寄与した。	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 拡大 令和6年3月に策定した大津市DX戦略に基づき、各事業を推進することで、さらなる市民生活の利便性向上と 行政事務の効率化を図る。また、令和6年度の包括外部監査の指摘を踏まえ、原則、各事業に指標設定を行い、必要に応じ、所管所属と連携を図りながら事業を推進していく。

所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	現在の社会情勢においては、デジタル技術	やデータの活用は必要不可欠	であることから、国の指針を踏まえて、
	IoTやAIをはじめとした新しい技術の	活用を主軸に大津市DX戦略	の推進を図る。令和7年度は、本戦略に
	紐づく事業において、指標設定を行い、副	市長を本部長、各部局長を委	員とする大津市DX戦略本部員会議にお
部局コメント	いて、進捗管理や指標の確認を行い、取組	を推進していく。	
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 所属 1024 政策調整部DX推進室 03

総合計画 大津市総合計画 第2期実行計画 情報政策推進事業

事務事業番号 03863	情報政	女策推進事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)大津市DX戦略	単位	<u> </u>	<u> </u>	<u>令和 7年度</u> 0.00	<u>令和 8年度</u> 0.00	<u>令和 9年度</u> 0.00	令和10年度 0.00	令和11年度 0.00
関連事業数	事業数	75. 00	82.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	大津市DX戦略	太部員会議におし	て進捗管理する	<b>事</b>			
(活動)大津市DX戦略	%	大洋市DX 戦略 0.00	では、指標評価に 0.00	<u>-基つさ事業を見</u> 100.00	直すことから、 <sup>4</sup> 100.00	7和6年度で廃止 100.00	_ිමු තිං 100.00	100.00
関連事業の指標設定率		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	指標説明				7年度から設定)			
(成果)大津市DX戦略	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
関連事業の達成率	指標説明	100.00 計画通りに実施	58.00 できた事業の比率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7						
							_	
							•	
						1		
							•	
							<u>l</u>	
						1		
		1				1	<del></del>	
			-		,			
		1					ı	
1 DO 7 DO E O								

整理番号 0011

令和 6年度

進捗区分 評価完了 政策調整部人権・男女共同参画課 1006

所属長名 福井 美穂 記入者 橋本 洋平

事務事業番号 00634 人権啓発推進事業

<b>7</b> ++	-	<b>k</b> =	<b>±</b> 17	•
【基	<b>Д</b>	百	邓	1

評価年度

所属

_【基本情報】										
総合計画	03 大津市総合計画	A LANGE THE SECURE OF THE SECU								
基本方針	001 子どもから高齢:									
基本政策	004 つながりを大切	004 つながりを大切にし、共に支えあうまちにします								
施策	012 人権及び平和意									
取組の方向性	001 人権啓発の推進									
事務事業	001 人権啓発推進事	THE HAND IN THE								
		ANT AND MARKET AND								
運営方法	直営									
評価区分	対象	主な取組区分	対象							
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の抗	<b>推進に関する法律</b>								
事業概要	権問題に関する正しい理解 また、「大津市人権教育 啓発を推進する。	解や認識を深めるた う・啓発推進指針〜	めの啓発活動を積極的	内に実施している。	ナ、人権啓発を実施し、人 連携しながら、人権教育・					
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	な人権課題が生じている。 (見直しや改善等の経過)	, 目指し啓発を推進し S戸配布、市民を対	象とした人権講演会の	の開催等、市内全域に	通じた誹謗中傷など、新た こ対し啓発事業を実施して 発活動に努めている。					
_【事業分析】										

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民(事業によっては人権擁護委員や人権擁護推進員)
目的(何のために)	市民一人一人の人権を尊重する意識の醸成を図るため。
手段(どのようなやり方で)	人権啓発紙の発行及び各戸配布、人権擁護委員及び人権擁護推進員への学習機会の提供、人権相談の実施、人権 啓発関係機関との連携、市民を対象とした人権講演会の開催、街頭啓発等。
成果(どのような 状態にするのか)	一人一人が人権に対する正しい理解と認識を深め、互いの人権を尊重し合うことができる社会を目指す。

(単位:千円) 【コスト】

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	-タルコスト	15, 074	15, 779	16, 072	17, 701	17, 701	17, 701	17, 701
3	事業費	4, 294	4, 859	5, 152	6, 781	6, 781	6, 781	6, 781
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	487	934	586	746	746	746	746
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3, 807	3, 925	4, 566	6, 035	6, 035	6, 035	6, 035
l [	人件費計	10, 780	10, 920	10, 920	10, 920	10, 920	10, 920	10, 920
	事務・技術(人)	1. 30	1. 40	1. 40	1. 40	1. 40	1. 40	1. 40
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
-	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0011

令和 6年度 評価年度 所属

進捗区分 評価完了 政策調整部人権・男女共同参画課 1006

事務事業番号 00634 人権啓発推進事業

【関連予質情報】

【为注了并用拟】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-09-55-00-04-00	人権啓発推進事業費	政策調整部人権・男女共同参画課

【定量評価】		•	•				上段:目標値	· 下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 啓発紙の作成・ 配布回数		3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
此们但奴	旦	3. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)人権擁護関係者 対象の研修会開催回数	0	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
		4. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)人権擁護関係者 対象の研修会参加人数	,	130. 00	130. 00	150.00	150.00	150.00	150. 00	150. 00
対象の研修芸参加人数	^	149. 00	149. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の人権意識の高揚にて	つながん	る学習機会を提供できたため。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{A}$
			D	上がっていない	
	評価理由	一人一人が互いの人権を尊	享重し1	合う意識の高揚につながっている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{H}$
			D	効率的でない	
	評価理由	人権週間等啓発強化期間に	こ合わっ	せて効率的に実施できたため。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	「つどい」への参加につな	ょがる.	人権学習の機会を提供できたため。	
	評価理由				

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 人権啓発紙の発行及び各戸への配布、人権学習会の開催や街頭啓発等を通じた継続的な啓発を進めることにより 、引き続き市民一人一人の人権意識の高揚を図り、人権が尊重されるまちづくりを進めていく。 所属コメント (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	人権啓発については、行政が主体的に実施 実に啓発事業を進める必要がある。人権課 しい理解や認識を深めることができるよう	題が多様化、複雑化する中、	市民一人一人がこれらの課題に関する正

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1006
 政策調整部人権・男女共同参画課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

 事務事業番号
 00634
 人権啓発推進事業

事務事業番号 00634 人権啓発推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 00634	八惟石	<b>発推進事業</b>					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動) 啓発紙の作成・	単位	<u> </u>	<u> </u>	令和 7年度 3.00	<u>令和 8年度</u> 3.00	令和 9年度 3.00	令和10年度 3.00	令和11年度 3.00
配布回数	回	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	自治会を通じて	各戸配布。約10	05,000部/	1 🛽			
(活動)人権擁護関係者 対象の研修会開催回数	回	4. 00	4.00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
対象の研修会開催回数	指標説明	4.00	4.00	0.00 推進員等を対象と	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	141年武功							
(成果)人権擁護関係者 対象の研修会参加人数	人	130.00 149.00	130.00 149.00	150. 00 0. 00	150. 00 0. 00	150. 00 0. 00	150. 00 0. 00	150. 00 0. 00
对	指標説明	研修会の参加人	<u>149.00</u> 数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			T	T	1			
			I	I				
							<u> </u>	
			I	I	I			
							<u> </u>	
			I	I	I			
							<u> </u>	
			I	I				
			I	I	1			
		1	1	1	ı		<u> </u>	
			I	I	1			
			l .	l .	l .		ı I	
			I	I	1		<u> </u>	
		<del> </del>	l	l				

整理番号 0012

事務事業番号

【基本情報】

令和 6年度 評価年度 所属

進捗区分 評価完了 1006 政策調整部人権・男女共同参画課 00642 男女共同参画センター管理運営事業 所属長名 福井 美穂 記入者 加藤 直彦

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります							
基本政策	004 つながりを大切にし、共に支えあうまちにします							
施策	012 人権及び平和意識の高揚と男女共同参画の推進							
取組の方向性	003 男女共同参画の推進							
事務事業	002 男女共同参画センター管理運営事業							
運営方法	直営							
評価区分	対象 主な取組区分 対象							
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、センター条例、センター管理運営規則							
事業概要	(事業概要) 平成18年4月に明日都浜大津に施設を移転して以降、複合施設の利点を生かし、子育て総合支援センターや市民活動センター等と連携し、男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点として、各種講座の開催をはじめ、情報収集及び情報提供、交流の場の提供や支援を行うとともに、電話相談や女性の悩み相談などの事業を実施している。							
	(事業を取りまく社会環境) 男性の育児休業取得がより求められる中、仕事と生活の調和や、性別による固定的役割分担意識の解消の推進が更に必要とされているほか、増加するDVやデートDVの被害への適切な対応や、性の多様性に関する正しい							

事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し

理解を深めることが重要となっている。 (見直しや改善等の経過) 多様な悩みを持つ相談者に寄り添いながら、問題解決へのつなぎ役として適切な機関連携を図るなど、相談機

関としての機能を果たしてきた。また、各種講座等の実施により男女共同参画社会実現に向けた事業を推進して いる。

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民等に対して
目的(何のために)	男女共同参画社会の実現のために
手段(どのようなやり方で)	各種講座の開設、活動の場の提供、情報収集と提供、各種相談事業、男女共同参画関連団体及びグループの活動 支援を行うことにより
成果(どのような 状態にするのか)	男女が共に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画意識の高揚と醸成を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	16, 315	15, 056	17, 095	17, 095	17, 095	17, 095	17, 095
事	<b>事業費</b>	9, 215	7, 156	9, 195	9, 195	9, 195	9, 195	9, 195
	国庫支出金	1, 166	0	0	0	0	0	C
	県支出金	0	0	0	0	0	0	C
	地方債	0	0	0	0	0	0	C
	その他	146	118	129	126	126	126	126
	一般財源	7, 903	7, 038	9, 066	9, 069	9, 069	9, 069	9, 069
7	(件費計	7, 100	7, 900	7, 900	7, 900	7, 900	7, 900	7, 900
	事務・技術(人)	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	1.00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

-34-IP27P040

整理番号 0012

令和 6年度 評価年度

進捗区分 評価完了 政策調整部人権・男女共同参画課 1006 所属 事務事業番号 00642 男女共同参画センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-17-51-00-01-00	男女共同参画センター管理運営事業費	政策調整部人権・男女共同参画課

【定量評価】					上段:目標値	下段:実績値		
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)講座開設数	講座	10. 00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10. 00
	神座	12. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)講座受講人数		0. 00	300. 00	300.00	300.00	300.00	300.00	300. 00
	^	0. 00	933. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)相談件数	件	0. 00	400. 00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
	1+	0. 00	335. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(活動)電話相談開設日		94. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
数	日	98. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	【定性評価】						
	評価項目	評価の観点		基準	評価		
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である			
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ		
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$		
				妥当ではない	•		
	評価理由	センターが実施主体であり	J、計画	画的に事業を展開できているため			
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている			
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている			
2		ているか	С	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由	講座参加者の満足度も高く	( 、目标	票値に向かって推移しているため			
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である			
		るか	В	やや効率的である	Λ		
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$		
			D	効率的でない	, .		
	評価理由	講座を集合、オンライン例	併用でき	実施することで効率性をあげている			
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_		
		しているか	В	やや貢献している	Λ		
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$		
			D	貢献していない	, .		
	評価理由	様々な手段と角度から事業	美に取り	り組めていると判断できるため			
	評価理由						

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 相談事業においては、当事者の相談内容を丁寧に聴き取るとともに、関係機関と迅速に連携を図ることで、D V事案等の緊急を要する事案に適切に対応する。また、相談実績を分析・評価することで、より効果的な相談体 制づくりを目指していく。各種講座においては、講座内容の見直しを図ることで、市民が利用しやすい男女共同 参画推進の拠点施設として、より一層の充実を図る。 所属コメント (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	男女共同参画センターでは、男女共同参画		
	ズに即した講座や事業に取り組んでいる。	激動する社会情勢の中で、相	談内容の複雑化や、深刻化が懸念される
	ことから、迅速かつ継続的に関係機関と連	携した相談支援の実施に努め	るとともに、相談窓口の一層の周知啓発
部局コメント	に努めていく。		
(400文字)			

 評価年度
 令和6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1006
 政策調整部人権・男女共同参画課

 総合計画
 03
 大津市総合計画 第2期実行計画

 事務事業番号
 00642
 里女共同参画センター管理運営事業

事務事業番号 00642	男女夫	は同参画センター	管理運営事業					下段:実績値
指標名 (活動)講座開設数	単位	令和 5年度 10.00	<u> </u>	令和 7年度 10.00	令和 8年度 10.00	<u>令和 9年度</u> 10.00	令和10年度 10.00	令和11年度 10.00
(石刻) 两庄所以致	講座	12. 00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	講座開設数						
(成果)講座受講人数	人	0.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
	指標説明	0.00 講座受講者実績	933.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
			400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
(成果)相談件数	件	0. 00 0. 00	400. 00 335. 00	400. 00 0. 00	400. 00 0. 00	400. 00 0. 00	400. 00 0. 00	400. 00 0. 00
	指標説明	相談実績(電話	相談、面接相談、	女性の悩み相談	、LGBTQ電話相談	)		
(活動)電話相談開設日	日	94.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
数	指標説明	98.00 電話相談開設日	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
	וליטמאלו בו	移行理由:委託	化に伴う相談業剤	<u>8内容の見直しに</u> 0.00	よるもの	0.00	0.00	0.00
(成果)講座受講者率	%	90. 65	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00
	指標説明	講座受講者数/	講座定員					
(成果)電話相談件数	件	移行埋田: 受講: 290.00	<u> </u>	5万か、事業を適 ┃ 0.00	切に評価できるた 0.00	<i>⊆&amp;</i> 0 0.00	0.00	0. 00
	指標説明	230.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	拍标就明	│電話怕談美稹(・ │移行理由:委託・	平成30年度~〒7 化に伴う相談業系	114年度の美額の <u>8内容の見直しに</u>	平均値で令和5年 よるもの	度からの日標値:	を見直し)	
							<u> </u>	
				ı				
							•	
				l .			<u> </u>	
				1	ı		1	
			Ţ	ı				
							•	
				ı	<u>l</u>		l I	
	-			<b>I</b>		1	-	

整理番号 0013

評価年度

所属

0013

令和 6年度 道

1006 政策

進捗区分 評価完了 政策調整部人権・男女共同参画課 所属長名 記入者

福开 美穂 森下 嵩

事務事業番号 00645

成果(どのような 状態にするのか) 男女共同参画推進事業

【基本情報】	
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
基本政策	004   つながりを大切にし、共に支えあうまちにします
施策	012 人権及び平和意識の高揚と男女共同参画の推進
取組の方向性	003 男女共同参画の推進
事務事業	001 男女共同参画推進事業
海尚士法	7.0/4
運営方法	その他
評価区分	対象 主な取組区分 対象
根拠法令等	男女共同参画社会基本法 大津市男女共同参画推進条例 女性活躍推進法 (事業概要)
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	平成31年4月に働き方改革関連法が施行され、男女における仕事と家庭の調和の改善が一層求められていることから、おおつかがやきプランIVに基づき、性別による固定的役割分担意識の見直しや、無意識の思い込みの解消を図っていく必要がある。令和3年の育児・介護休業法の改正により、男性の育児休業取得を後押しする施策が段階的に施行されていることから、家庭内における家事・育児シェアを支援するなど、引き続き男女共同参画に資する取組を推進する。また、増加するDVやデートDVの被害への適切な対応が重要となっているなか、デートDVに関する市民の理解を深めていく必要がある。
【事業分析】	<del>- !</del>
対象(何又は誰を)	市民、事業者、男女共同参画推進団体連絡協議会等の関係団体、市職員等を対象に
目的(何のために)	男女共同参画社会基本法第2条に規定する男女共同参画社会を実現するため
手段(どのようなやり方で)	「かがやきプランⅣ(大津市男女共同参画推進計画・大津市女性活躍推進計画)」に掲げる取組、男女共同参画

【コスト】	(単位・千円)

すべての人が多様性を認め合い、尊重し合うことにより、自分らしく最大限に力を発揮でき、一人ひとりがかが

をすすめる市民フォーラムの開催に取り組むことで

やくまち「おおつ」を実現する。

L →	<b>人下</b> 】							(単位:十円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	24, 232	24, 427	25, 188	31, 114	25, 944	25, 944	25, 944
틕	<b>事業費</b>	6, 072	4, 827	5, 688	11, 614	6, 444	6, 444	6, 444
	国庫支出金	963	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	945	478	100	0	0	0	0
	一般財源	4, 164	4, 349	5, 588	11, 614	6, 444	6, 444	6, 444
レフ	(件費計	18, 160	19, 600	19, 500	19, 500	19, 500	19, 500	19, 500
	事務・技術(人)	2. 00	2. 00	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.80	1. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0013

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 政策調整部人権・男女共同参画課 1006

事務事業番号 00645 男女共同参画推進事業

【関連予算情報】

所属

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
Г	01-10-05-17-50-00-11-00	男女共同参画推進事業費	政策調整部人権・男女共同参画課
Г	_		

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)市民フォーラム 参加者数	,	450. 00	450. 00	450.00	450.00	450.00	450.00	450. 00
<b>多加有数</b>		229. 00	449. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)審議会等への女 性委員の登用率	%	40. 00	40. 00	40. 00	40. 00	40. 00	40.00	40. 00
	70	36. 00	35. 30	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)市役所における男性育児休業取得率	%	30.00	30. 00	30.00	30.00	30.00	30.00	30. 00
355 压自允朴未以时 <del>十</del>	70	43. 90	60. 90	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
【定性評価】								

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			Δ	妥当ではない	
	評価理由	本市が実施主体であり、記	画的	こ事業を展開できているため	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標値に向かって推移して	こいる。	と一定判断できるため	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
			D	効率的でない	
	評価理由	業務委託の活用など、効率	区化を[	図ることができているため	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	様々な手段と角度から事業	能に取	り組めていると判断できるため	
	評価理由				

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 前年度に引き続き、女性の家事育児に関する負担の軽減や、家庭における男女共同参画を推進するため、男性 の家事育児を促進する取組を進めた。また、市民団体や経済団体等の関係機関との連携を図ることで、職場や家 庭における男女共同参画社会の実現を進めるとともに、引き続き各種イベントの内容、構成、手法等を工夫しつ つ、効果的な事業となるよう努めることとする。 所属コメント (400文字) さらに、デートDVに関する市民の認知度が未だ低いという現状を踏まえ、引き続き様々な機会を通じて周知 、啓発を進めていく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	多様化する生き方・働き方に対応し、誰も	が自分らしい生活を送ること	ができる男女共同参画社会の形成を促進
	するため、関係課や関係機関との連携を図		
	・大津市女性活躍推進計画)」に基づき、	男女共同参画社会の実現に向	けて、効果的・効率的に施策を推進して
部局コメント	いく。		
(400文字)			

 評価年度
 令和6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1006
 政策調整部人権・男女共同参画課

 総合計画
 03
 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00645 男女共同参画推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 00645	男女弟	共同参画推進事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)市民フォーラム	人	450.00	450.00	450.00	450.00	450.00	450.00	450.00
参加者数	<del>作</del> 指標説明	229.00	449.00 ーホール定員 5 0	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
	1日1示武功	生涯学者センタ	ーホール正貝5	) 0名の9割を指	ほにてりる。			
(成果)審議会等への女	%	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40. 00
生委員の登用率		36.00	35. 30	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	指標説明	審議会等委員の	うち、女性委員 <i>0</i>	D割合				
(成果) 市役所におけ		30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
る男性育児休業取得率	%	43. 90	60. 90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0 33 1 ± 1 3 50 11 × 1× 1× 1× 1	指標説明	市役所において	育児休業を取得し		合(令和3年度	までくるみん認定	『企業数で評価。和	多行理由:共
		働き世帯の増加	に伴い、男性の音	所取得推進の重	要性が高まって	ちり、かがやきフ	プランⅣの策定に位	半い変更)
							L	
		+	Ī	ı	<u> </u>		<u> </u>	
		1						
		1						
					]		T	
							I	
			1	1			Γ	
			•	•	•		•	
			ı	1			Γ	
					<u> </u>		1	
		+			<u> </u>		I	
		<u> </u>			<u>                                       </u>			
								-
		+	Ī	ı	<u> </u>		<u> </u>	
		1			•		<u> </u>	
		1						
		+	<u> </u>	1	1			
		1						
		+					I	
		1	1	1			<u> </u>	
		†			•			
	<u> </u>	<u> </u>						
IP27P050								

整理番号 0014

評価年度 令和 6年度 所属

進捗区分 評価完了 政策調整部人権・男女共同参画課 1006

所属長名 福井 美穂 記入者 礒田 征樹

事務事業番号 02452

いじめ対策推進事業 【基本情報】

_【基本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります							
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします							
施策	002 子どもを守る仕	:組みの充実						
取組の方向性	001 子どもの人権の	尊重						
事務事業	001 いじめ対策推進	事業						
運営方法	直営		1	L.	•			
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
2								
根拠法令等	いじめ防止対策推進法、	大津市子どものいじ	めの防止に関する条例		1			
INACA I- 1	(事業概要)	7 (7 - 1, 1 C 0 0 ) t O	**************************************					
		旨に基づき、いじめ	の防止等にかかる次の事	業を実施している。	•			
	<ul><li>大津の子どもをいじめ</li></ul>			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•			
	・大津市いじめに関する							
事業概要	<ul><li>・いじめ対策体制の整備</li></ul>							
	<ul><li>いじめ防止のための啓</li></ul>							
	0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 7 2 0 7 0 7 1 1	7C/C <del>3</del> /J						
	(事業を取りまく社会環境	<u></u>						
			じめの吐止に思する冬旬	太体行   亚成り 5・	年9月、国ではいじめ防			
	止対策推進法が施行され							
┃ ┃事業を取りまく社会	によるいじめ解消の仕組	0 1. 1 1						
│ 事業を取りまく社会 │ 環境とこれまでの見直し	数が増加する中、引き続				認知什数で重入事態の什			
現現とこれまでの見直し 	(見直しや改善等の経過)	さいしめ防止対象の	推進が里安となっている	0				
		<b>ムしの車業の手指竿</b>	ナッ・サンド ナン・カナンド か	の叶よい明士で伝	動計画やLINE相談に			
	1. 1 1			の防止に関する打!	助計画やLINE他談に			
【声类八七】	関する事務などを教育委	貝云に移官するなど	の登理を打つに。					
【事業分析】 対象(何又は誰を)		ナの反射のにもです	ナビボッカ ひにおに はに	十九日辛五が出仕	スの仲これこの老し笠			
対象(何又は誰を)	市立小中学校並びに大津			9 る児里及び生徒	、ての他これらの名と寺			
	しくいじめ防止の対象と	認めることか過ヨと	認められる白を対象に、					
		叶儿儿眼十二名原本	ガーユナルドルの吐した	明ナック科司法に	サベナ フドエナいにゅ			
目的(何のために)	大津市子どものいじめの		の大洋市いしめの防止に	.関9る仃期計画に	基づさ、十ともをいしめ			
	から守るための総合的な	対束を付うため、						
エ肌/じのしこれめリナマ)		/D 排来 士 史 平 4 **	古世之体は てねずとの	主效なが処物とか	当し さけめかっきちか			
手段(どのようなやり方で)	取組主体である市、学校におりに対していま		<b>事未</b> 有寺は、てれてれの	貝伤及ひ反刮を日	見し、土体的かり傾倒的			
	に相互に連携して、いじ	め防止に取り組み、						
##/!\@\\\\	7 18 1 18 1 1 1 1 - 1 = -1 = 1	<b>D</b> > 1 - 4 - 7 :	¥ × - 1 /2 - 1 7 + 1	***	****			
成果(どのような	子どもが健やかに成長し		子ふことかできる環境を	怪え、一人一人の	<b>學敵を</b> 天切にし、相互に			
状態にするのか)	尊重しあう社会を実現す	<b>る</b> 。						
1								

[ ]	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
<b> -</b>	タルコスト	22, 991	24, 135	25, 020	32, 646	32, 646	32, 646	32, 646
=	事業費	2, 727	1, 995	2, 880	2, 706	2, 706	2, 706	2, 706
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 727	1, 995	2, 880	2, 706	2, 706	2, 706	2, 706
	<b>人件費計</b>	20, 264	22, 140	22, 140	29, 940	29, 940	29, 940	29, 940
	事務・技術(人)	1. 40	1. 30	1. 30	2. 30	2. 30	2. 30	2. 30
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	2. 92	3. 00	3.00	3.00	3.00	3.00	3. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
- 7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

下段:実績値

130.00

1,000.00

0.00

0.00

令和11年度

上段:目標値 令和10年度

130.00

1,000.00

0.00

0.00

# 事務事業評価シート(2/2)

整理番号 0014

評価年度令和 6年度所属1006

令和 6年度 進捗区分 評価完了 1006 政策調整部人権・男女共同参画課

令和 5年度

130.00

136.00

936.00

1,000.00

事務事業番号 02452 いじめ対策推進事業

件

回

単位

【関連予算情報】

【定量評価】

対応延べ回数

実件数

指標名 (活動) いじめ等の相談

(活動)いじめ等の相談

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-09-60-00-01-00	いじめ対策推進事業費	政策調整部人権・男女共同参画課
01-10-05-09-60-00-02-00	会計年度任用職員雇用経費(いじめ対策)	政策調整部人権・男女共同参画課

令和 7年度

130.00

1,000.00

0.00

0.00

令和 8年度

130.00

1,000.00

0.00

0.00

令和 9年度

130.00

1,000.00

0.00

0.00

令和 6年度

130.00

200.00

1,000.00

1,071.00

					,					1	
	果) いじめを受けた			67. 00		67. 0	0 67.00	67. 00	67.00	67. 00	67.00
	きに、誰かに相談し	%		68. 01		69. 1	6 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	子どもの割合 t果)いじめの解決に										
	けて行動した子ども	%		75. 00		75. 0	0 75.00	75. 00	75. 00	75. 00	75. 00
	割合	70		80. 30		81.0	4 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	<del>7,0</del>			I							1
	評価項目			評価の観点				基準			評価
	妥当性		実加	施主体又は手段は3	妥 <i>I</i>	4 妥	ぎ当である				
			当力	<u></u>	E		Fぼ妥当である				Λ
1					(		5まり妥当ではない	١			$\boldsymbol{\mathcal{H}}$
					_		当ではない				
	評価理由						と連携した対策に耳	Qり組んでいる			
	有効性			業分析の「成果」ホ			がっている				<b>A</b>
•				記載の成果は上がっ			や上がっている				Λ
2			てし	ハるか			ちまり上がっていな	:(1			
	== /=		0.4	0の世界比極の口			:がっていない   大きは1 マンス				
	評価理由		_	つの成果指標の目標							
	効率性		争えるが	業手法は効率的で <i>を</i>	_		かないである				<b>A</b>
3			ත <i>1</i>	J'	E		らや効率的である うまり効率的でない	`			Δ
ა					<del>                                   </del>		)まり効 <u>率的でない</u> h率的でない	`			
	評価理由		教育	5季昌会と連携し	-		9年的でない 8運営に取り組んで	<b>でいる</b>			
	施策への貢献度		_	東目標の達成に貢献 第目標の達成に貢献			献している	C V W			
	池水 切头而及			れ口はのたるに女。 ているか		_	や貢献している				Λ
4							まり貢献していな	(J)			$\boldsymbol{A}$
							献していない	•			<i>,</i> ,
	評価理由		実刻	効性のあるいじめ	防止に向	_	対策に取り組めてし	いる			
	I										

	評侃	西理由 一
(F	所属	評価結果】
	A	_

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子どもたちが身近に感じて相談しやすくを学校・教育委員会以外で行うことにより学校・教育委員会だけではなく、家庭や地う意義も大きい。子どもたちの抱える課題係機関等と連携しながら取り組んでいく。	」、二重三重の救済システムの 地域を含めた社会全体での取組 記が多様化する中、その解決に	が必要であり、そのための啓発活動を行

	価結果】

家庭、地域、学校が連携・協働し、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応したいじめ対策を地域社会全体で推進していく。また、多様化する子どもたちの課題の解決を図るため、これまで以上に子どもの心に寄り添った相談対応を行うとともに、効果的な支援を行うため、引き続き教育委員会や関係機関等と連携を図っていく。部局コメント(400文字)	総合評価	計画とおり事業を進めることが適当	事業の万向性	現状維持 
	部局コメント	進していく。また、多様化する子どもたち	の課題の解決を図るため、こ	れまで以上に子どもの心に寄り添った相

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1006 政策調整部人権・男女共同参画課

総合計画	03	大津市	i総合計画 第2期	実行計画						
事務事業番号	02452	いじめ	対策推進事業					上段:目標値	下段:実績値	
指標名		単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	
/江動/ いじ み笠	今古史		120 00	120 00	120 00	120 00	120 00	120 00	120 00	

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	<b>今和 7</b> 年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)いじめ等の相談	件	130.00	130.00	令和 7年度 130.00	130.00	130.00	130.00	130.00
実件数	指標説明	136.00	200.00 室で直接相談を受	<u>0.00</u> をけた事案(いじ	0.00 め以外含む)の	0.00 実件数	0. 00	0. 00
(活動)いじめ等の相談		1, 000. 00					1, 000. 00	1, 000. 00
対応延べ回数	回 指標説明	936.00	1, 071. 00	0.00		0.00	0.00	0.00
	111示武功						07.00	
(成果)いじめを受けたときに、誰かに相談し	%	67. 00 68. 01	67. 00 69. 16	67. 00 0. 00	67. 00 0. 00	67. 00 0. 00	67. 00 0. 00	67. 00 0. 00
た子どもの割合	指標説明	いじめを受けた	ときに、誰かに札	目談した小中学生	の割合		<u> </u>	
(成果)いじめの解決に向けて行動した子ども	%	75. 00 80. 30	75. 00 81. 04	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00	75. 00 0. 00
の割合	指標説明	いじめを見つけ					 :乗る等)を取っ <i>1</i>	
		割合						
							<b>I</b>	
					ı	·	•	
							<u> </u>	
							<b>I</b>	
					ı	·	•	
					<u> </u>			
	<del> </del>							
		1						
					T		•	
					1			
	-							
IP27P050				_12_				